

## 一般質問

## 六月議会

## ●人口減少について

(1)日本の地域別将来推計人口(平成30年(2018年)推計)について

2045年の人口推計において都内で減少率が最も大きいのは町村を除き福生市で羽村市、青梅市がこれに続くことあり、2045年に75歳以上人口の割合が高いのは町村を除き福生市、これに青梅市が続くとあります。

これは、国立社会保障・人口問題研究所(社人研)が3月30日に公表したデータとあります。そこで「日本の地域別将来推計人口(平成30年(2018年)推計)」について簡単に説明していただき、市としての評価を聞きました。市の分析は、福生市は人口の流動が激しく必ずしもこのような結果になるとは言えない。現にここ数年の人口減少は食い止められ、外国人を含む人口は増加傾向にある、とのことです。

## (2)「福生市人口ビジョン及び総合戦略」への影響について

平成28年3月に発行された「福生市人口ビジョン及び総合戦略」

では、人口ビジョンを平成72年(2060年)までを対象期間としており、将来人口推計として社人研の推計方法に準拠した方法で将来人口を推計しています。それによると、平成32年(2020年)に56,020人、平成52年(2040年)には45,301人、平成72年(2060年)には32,751人と予測しています。

今回公表された社人研の予測では2045年が最長なのでこれを比較すると、市の予測が42,200人に対し、社人研の予測は35,227人であり、その差は6.5%にも及びますが、「福生市人口ビジョン及び総合戦略」への影響はないか、市の考えを聞きました。

今回公表された結果は、ひとつの推計結果としか捉えていないので、現在進めている「福生市人口ビジョン及び総合戦略」には影響はない、との答弁でした。

## ●新元号について

(1)新元号に対する国の方針について

今上天皇の退位が来年4月末と11ヶ月後に迫ってきました。元号について「平成」の次は何になるのか世間で話題になっています。現在では日付は西暦で表され

るケースも多いのですが、役所や銀行等では書類に元号が使われています。30年前と違い事務の殆どが電子処理されており、元号が変わるといことは大きな影響を及ぼすと考えています。そこで、国の方針について聞きました。

現時点では何も決まっていないうという答弁でした。

## (2)当市における対応について

市の事務においても元号が変わるといことは大きな事件ではないかと感じています。ところが、3月に行われた定例会における予算審査において新元号に対応する事務に関して説明を聞いた覚えがありません。

新聞によると、政府は新しい元号となる来年5月1日以降も「平成」の元号を一定期間使い続ける検討に入ったとのこと。そこで、新元号に対して市ではどのような対応をとられるつもりか、スケジュール、予算等について聞きました。国や東京都から情報はありますが、変更点の洗い出しを行っており、補正予算で対応するとのことです。

## 九月議会

## ●固定資産税について

(1)固定資産税の課税誤りについて

今年度、当市において固定資産税及び都市計画税の課税ミスがあり、6月18日付けでプレスリリースが行われました。プログラムミスにより一部の地区に異なる補正率を適用したため課税額の算定に誤りがあることが判明したというもので、誤りのあった件数は157件(16路線、207筆)と報告されています。

そこで、プログラムミスということだがその内容となぜミスが見つからなかったか、他に不具合はないかの検証を含め再発防止についてどのような対策をとられるつもりか聞きました。

検証件数を増やすとともに、システム改修の確認及び委託業者との情報共有の強化を徹底し再発防止に努めるとのことです。

(2)所有者不明の土地・建物について

NHKクロースアップ現代によれば、「これまで主に山間部で起きていたとされてきた。しかし、独自にアンケート調査を行ったところ、全国の政令指定都市や東京23区で公共事業を行う際に所有者不明土地が少なくとも700